

# プログラム説明書

|  |   |          |               |
|--|---|----------|---------------|
| 団体名  | フォレスターズかがわⅡ   |          |               |
| プログラム名   | 里山ふれあいプロジェクト 『木と森の話・ヒノキのこと』                                       |          |               |
| 概要   | ヒノキという木を特定して木の成長に必要な要素や森林整備の説明、ヒノキの木の利用でも楽器で楽しむ。                  |          |               |
| ねらい  | 児童がヒノキの苗木を見、また球果、種子、8cm 程の輪切り、木の皮の実物を手にする。檜で制作された楽器「ヒノッキン」で音楽を楽しむ |          |               |
| 対象者  | こども園(4,5 歳児)、小学校低学年   | 人数       | 40 人程度        |
| 実施場所   | 教室、遊戯室  | 実施時間     | 1 時間程度・昼食前に終了 |
| 学校の準備物   | 長机、ホワイトボード、その他  | 実施団体の準備物 | 教材一式          |
| 安全上の注意事項   | 安全上の注意事項は特にありません。事前に打合せをさせていただきます。                                |          |               |
| 雨天時の対応   | 屋内での実施  |          |               |
| アピールポイント   | 檜輪切で年輪を数え、木の独自の臭いを知り、輪切を使って図工に使うもらう。ヒノッキンを使った音楽会、手遊びお遊戯で楽しむ。      |          |               |
| プログラムの進め方  |   |          |               |
| <p>【導入】</p> <p>まず木の成長ストーリーから、ヒノキの苗木を見せて木が大きくなる様子を子供たちにイメージしてもらう。木が成長するために必要な要素を考えてさせて児童の発表を促す。</p> <p>【展開】</p> <p>木の成長とともに森は暗く日が入らなくなることを、身体を使って表現するなどし、人が植えた木は「間伐」という行為で木を伐って、太陽を入れることで木が成長する様子を伝える。</p> <p>次はヒノキの輪切り。森林の手入れで発生した間伐材の輪切りを子供に一枚ずつ渡し、年輪を数えて木の齢を知り生長を視認させる。輪切りを匂い、かたちをみて感じるものを連想し発表する。また、小さな茶色の実、「ヒノキポックリ」を配って、マツポックリなどと対比させて説明する</p> <p>ヒノッキンはヒノキの間伐材で作ったオリジナル楽器。講師がなじみのある楽曲を演奏し、児童がそれに合わせて合唱、また一人ひとりの気持ちで打音して発する音の意外性に気づかせる。未利用木材の一つの試みです。</p> <p>【まとめ】</p> <p>今日はヒノキという木の話をしたこと。木は空気をつくり環境にも役立っていること。木を大きく育てるために木を伐ること。木は動くことができないから匂いなどで自分を守っていること。木にも年輪という齢があること。今日帰ったら家の人に木の話をしてあげてくださいのお願いで終わる。</p> |   |          |               |